NIE実践報告

1．タイトル：**「新聞を活用して、聞く人に届くように発表（スピーチ）しよう」**

2．学校名

岩手県　遠野市立　達曽部小学校

3．実践者名（代表者名）

中澤　達也

4．学年

第6学年

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

国語　6年　11名

6．単元（本時の学習課題）名

「聞く人の心に届くように発表しよう」

7．目標(狙い)

・新聞記事を活用して、意見や感想を話し合うことを通して発表（スピーチ）の仕方に慣れる。
・聞き手を意識して、効果的に自分の思いが伝わるように話す。（一番伝えたいことをスピーチする。）

8．評価の視点

・選んだ新聞記事について、自分の意見や感想を書いて発表することができたか。
・新聞記事から伝えたいことが効果的に伝わるようにスピーチするための工夫や努力をしたか。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

単元名「聞く人の心に届くように発表しよう」（8時間）
※NIEに関わっては、（３時間：新聞を活用して発表し、聞く人の心に届くスピーチに慣れる）

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

①教材文「今　わたしは　ぼくは」を読み、学習全体のめあてをもつ。　（1時間）
②新聞を活用（記事を選ぶ、記事について自分の意見や感想を書く、
発表《スピーチ》をする）して、聞く人に届く発表（スピーチ）のイメージをつかむ。（1時間）
③新聞記事を活用して、聞く人に届くスピーチの練習をする。　（1時間）

（留意点）
・教材文や新聞を読み合い、記事の選び方、意見や感想の書き方、発表の仕方を考えさせる。
・新聞の切り抜きをもとに、身近な出来事やテレビの話題などから、日ごろの疑問に思っている
ことなども入れて、スピーチをふくらませて発表することを助言する。
・友だちとスピーチしたことを交流し、意見交換しながら、聞く人に届くような
スピーチの仕方を考えさせる。

11．児童・生徒の反応、感想・意見

・身近な新聞記事を活用することで、自分の考えや感想が書きやすく、スピーチの仕方もよく分かった。
・新聞をもとにスピーチすることで、何をどう発表すればよいかが分かり、スピーチの練習になった。

12．成果と課題

・スピーチをするために新聞を活用したが、何をどのように発表するかがはっきり分かり、様式の一つとして
スピーチの仕方を学習することができた。
・新聞記事を活用することで、意見や感想の交流が活発に行われ、聞く人の心に届く発表の仕方の学習につな
がった。
・スピーチの学習の様式一つとして、新聞記事を活用したが、意見や感想を話し合うことを通して、社会の動
きに関心を示すようになった。